

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
2017(平成 29)年 10 月 6 日 報道発表資料

報道関係者各位

平素よりお世話になっております。ロームシアター京都よりご案内です。ご注目のほどよろしくお願いたします。

<トピックス>

- ◆ロームシアター京都 2017 年度(平成 29 年度)下半期 自主事業ラインアップ追加発表
- ◆チェルフィッチュ「三月の 5 日間」リクリエーション 10/14(土)チケット発売開始
- ◆CIRCULATION KYOTO8/6 プレゼンテーション動画公開&「メディア制作発表トーク」2018/3/10 開催決定!
- ◆ロームシアター京都 リサーチプログラム 最終報告会 2018/3/20 開催のご案内

ロームシアター京都 2017 年度(平成 29 年度)下半期 自主事業ラインアップ追加発表

オープンして 2 年目、そしてレギュラーシーズンの 1 年目となる今年度のロームシアター京都は、「劇場文化をつくる」というコンセプトのもと、多彩な事業を次々に展開しております。このたび、2017 年度(平成 29 年度)下半期の主催・共催事業の追加プログラムが決定いたしましたのでお知らせいたします。ぜひご注目頂き、貴媒体にてご紹介いただきますよう、お願いたします。

2017 年度自主事業のポイント

拡がる ～普及プログラム

長い歴史を生き抜いてきた古典(クラシック)は、現代においてなお進化を続けています。連綿と続く営みを受け継ぎ、次代へ届けていきます。

伸びる ～育成プログラム

観ることは育てること。ロームシアター京都が、演じる人にとっても鑑賞する側にとっても、夢へと続く第一歩となるような機会をつくり出します。

未来へ ～創造プログラム

現代の表現は、いま私たちが生きる時代への応答です。その先を未来を見据えるため、劇場の財産となる作品を創造します。

出会う ～フェスティバル

京都から世界へ、世界から京都へ。ロームシアター京都を拠点に、未だ見ぬ表現へと広がる出会いの扉が開きます。

参加する劇場へ

ロームシアター京都が開かれた場所として、人々の交流や憩いの場となるよう、さまざまな形で積極的に参加できるプログラムを行います。

【新プログラム】

舞台芸術としての伝統芸能 vol.1

舞踊 未来へ ～創造プログラム



尾上菊之丞 / 撮影:ハヤシフォート

伝統芸術の継承と創造を目的とした「舞台芸術としての伝統芸能」シリーズが今年度よりスタート。記念すべき初年度は、尾上流四代目家元の尾上菊之丞をスーパーバイザーに迎え、共通のテーマのもと、能・上方舞・歌舞伎舞踊と異なるジャンルの“舞踊”の連続上演と、出演者による対談を実施します。

スーパーバイザー:尾上菊之丞

出演:金剛龍謹、井上安寿子、中村壱太郎(吾妻徳陽)

日時: 2018 年 2 月 21 日(水)19:00 開演 会場:サウスホール

料金等の詳細は決定次第ロームシアター京都WEBサイト(<http://rohmtheatrekyoto.jp/>)にてご案内します。

主催:京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

【新プログラム】

「いま」を考えるトークシリーズ(全4回)

その他

参加する劇場へ

ロームシアター京都では、新たなトークシリーズを開始します。多様な角度から同時代の社会を知り、捉え直すためのトピックを挙げ、それにまつわるゲストを招きます。複雑化し、混迷する現代を「いかに生きるべきか」。その手がかりを探り、ともに考えるトークシリーズです。

[vol.1] テーマ:定常型・高齢化社会の“創造的”生き方を考える

ゲスト:

広井良典(京都大学こころの未来研究センター教授)
菅原直樹(「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰、俳優、介護福祉士)



第一回は日本社会が直面する超高齢化時代において、劇場が生み出さるコミュニケーションについて考えます。ゲストに、ポスト市場化社会としての“定常型社会”を提唱し、公共・福祉・都市計画などの観点からコミュニティについて著書多数の広井良典氏(京都大学こころの未来研究センター教授)と、「老人介護の現場に演劇の知恵を、演劇の現場に老人介護の深みを」という理念のもと演劇公演などを行い、多方面から注目を集める「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰・俳優で介護福祉士の菅原直樹氏をお迎えし、社会状況と実践的な芸術活動の現在形から、劇場にたちあがる“創造的”コミュニケーションの輪郭を探ります。

第一部:広井氏によるレクチャー、第二部:菅原氏によるレクチャー&ワークショップ、第三部:両者のディスカッションの三部構成で実施します。

日時:2017年12月16日(土)16:30~19:30 会場:パークプラザ3階共通ロビー

参加料無料・事前申込制、10/6(金)受付開始

申込方法: [ロームシアター京都WEBサイト\(http://rohmtheatrekyoto.jp/\)](http://rohmtheatrekyoto.jp/)内の専用予約フォームからお申込みください。

[vol.2] テーマ:多数決と民主主義~「わたしたちの意思」の表現とは

ゲスト:

坂井豊貴(慶應義塾大学経済学部教授)
岡田利規(演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰)



子どもの頃から教えられる多数決。集団が異なる意見に分かれたとき、わたしたちは幾度となく、この方法でその場を解決してきました。一方で、昨年実施されたイギリスのEU離脱を問うた国民投票、アメリカ大統領選など、国論を二分しながらも多数決によって決められた結果が大きな波紋を呼び、世界中が揺れています。果たして民主主義を支えるはずの多数決という方法は、「わたしたちの意思」をどのように反映しているのでしょうか?第二回は、「多数決を疑う」(2015年)の著者で社会的選択理論が専門の坂井豊貴氏をお迎えし、多数決に関する様々な研究、理論を体感するレクチャーを実施します。後半には、演劇作家の岡田利規氏との対談を行い、「わたしたちの意思」を表現する多数決の方法と民主主義のあり方について考えます。

日時:2018年2月2日(金)14:00~ 会場:ロームシアター京都内

参加料無料・事前申込制、2017年12月受付開始

[今後のテーマ] セクシャルマイノリティと芸術表現(仮称)/AI(人工知能)と音楽の未来(仮称)

※vol.3,4の詳細は後日発表します。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

各公演のチケット情報ほか詳細は[ロームシアター京都WEBサイト\(http://rohmtheatrekyoto.jp/\)](http://rohmtheatrekyoto.jp/)ならびに10月6日発行の「ロームシアター京都2017年10月-2018年3月自主事業ラインアップ」をご覧ください。追加発表等のご案内については随時プレスリリースならびに[ロームシアター京都WEBサイト\(http://rohmtheatrekyoto.jp/\)](http://rohmtheatrekyoto.jp/)にてご案内いたします。

チェルフィッチュ「三月の5日間」リクリエーション 10/14(土)チケット発売開始



写真・小林健太

新作を発表するごとに、世界中から大きな期待が寄せられるシアター・カンパニー、チェルフィッチュ。活動 20 周年を記念して、2005 年に第 49 回岸田國土戯曲賞を受賞した初期代表作を、オーディションにより選ばれた 20 代前半の俳優のみを起用し新たに再創造します。

作・演出：岡田利規

出演：朝倉千恵子、石倉来輝、板橋優里、渋谷采郁、中間アヤカ、米川幸リオン、渡邊まな実

舞台美術：トラフ建築設計事務所

日時：2018 年 1 月 30 日(火)～2 月 4 日(日)

	1/30(火)	1/31(水)	2/1(木)	2/2(金)	2/3(土)	2/4(日)
14:00			●		●	●
18:00					●	
19:30	●	●	●	●		

会場：ノースホール

チケット：2017 年 10 月 14 日(土)10:00 より発売開始

全席自由 一般 3,500 円 ユース(25 歳以下)2,500 円(限定枚数)

ロームシアター京都オンラインチケットほかで取扱

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

企画制作：株式会社 precog

製作：一般社団法人チェルフィッチュ、KAAT 神奈川芸術劇場

国際共同製作：KAAT 神奈川芸術劇場、ロームシアター京都、Kunstenfestivaldesarts

国際共同製作賛助：穂の国とよはし芸術劇場PLAT、長野市美術館、山口情報芸術センター[YCAM]

【プロフィール】

チェルフィッチュ

岡田利規が全作品の脚本と演出を務める演劇カンパニーとして 1997 年に設立。独特な言葉と身体の関係性を用いた手法が評価され、現代を代表する演劇カンパニーとして国内外で高い注目を集める。その日常的所作を誇張しているような/していないようなのだらだとしてノイズな身体性は時にダンス的とも評価される。2007 年ヨーロッパ・パフォーミングアーツ界の最重要フェスティバルと称されるクンステン・フェスティバル・デザール 2007(ブリュッセル/ベルギー)にて「三月の5日間」が初めての国外進出を果たして以降、アジア、欧州、北米にわたる計 70 都市で上演。2011 年には「ホットペッパー、クーラー、そしてお別れの挨拶」が、モントリオール(カナダ)の演劇批評家協会の批評家賞を受賞。つねに言葉と身体の関係性を軸に方法論を更新し続け、2012 年『現在地』以降はフィクションへの探求のもと創作に取り組んでいる。2013 年 5 月クンステン・フェスティバル・デザールの委嘱作品として「地面と床」、2014 年 5 月演劇界のトリエンナーレとも呼ばれる Theater der Welt 2014(マンハイム/ドイツ)の委嘱作品として「スーパープレミアムソフト W バニラリッチ」を発表。2016 年 3 月 KYOTO EXPERIMENT にて、世界 8 都市共同製作作品『部屋に流れる時間の旅』をチェルフィッチュ最新作として発表。



チェルフィッチュ『部屋に流れる時間の旅』
©Misako Shimizu

ロームシアター京都×京都市文化会館連携事業 地域の課題を考えるプラットフォーム 「まちの見方を180度変えるローカルメディアづくり～CIRCULATION KYOTO（サーキュレーションキョウト）～」8/6プレゼンテーション動画公開&「メディア制作発表トーク」2018/3/10開催決定！

ワークショップで構想されたローカルメディア案を「公開プレゼンテーション」（8/6(日)）にて発表した CIRCULATION KYOTO。このたび、その発表内容を全編動画にて公開しました。

公開プレゼンテーション&ディスカッション動画はこちら

☞ <http://circulation-kyoto.com/>

また、具体化された各エリアのローカルメディアおよび本プロジェクトを振り返る記念トークの開催が決定しましたので併せてお知らせします。

日時：2018年3月10日(土)14:00～

参加費無料、予約不要

会場：ロームシアター京都内



『まちの見方を180度変えるローカルメディアづくり～CIRCULATION KYOTO～』とは
山科区、伏見区、西京区、北区、右京区それぞれに位置する5つの京都市文化会館とロームシアター京都が連携し、新たな“京都ローカル”の姿を探る参加型新プロジェクトが始動。参加クリエイター、京都在住のさまざまな地元パートナー、ワークショップの一般参加者が協働して構想・制作するメディアを通じ、「ローカル」と「メディア」を問い直します。
特設サイト☞ <http://circulation-kyoto.com/>

ロームシアター京都 リサーチプログラム 最終報告会 2018/3/20開催のご案内

ロームシアター京都では、プログラム策定のためのリサーチ、舞台芸術に関わる研究・批評分野と実践の場をつなげる若手人材の育成を目的に、リサーチプログラムを実施しています。公募により4名のリサーチャーを選出。リサーチャーは、自らが選択したテーマに沿って、メンターおよび劇場職員、事業に関わる関係者とのミーティング、リサーチ、ディスカッションを重ね、調査研究を行います。このたび、その成果を一般公開形式で報告する「最終報告会」の開催が決定しました。

テーマ・リサーチャー：

A 「古典芸能と現代演劇」 林 立騎

B 「子どもと舞台芸術」 大野はな恵、清水久莉子、浜上真琴

メンター：

吉岡 洋(京都大学こころの未来研究センター特定教授)

若林朋子(立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科特任准教授、プロジェクト・コーディネーター)



【最終報告会】

日程：2018年3月20日(火)18:00～21:00

参加費無料、予約不要

会場：ロームシアター京都内

[本リリースに関するお問合せ先]ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 担当：松本、長野
電話：075-771-6051(9:00～17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp